



2003 ~ 2004 年度

# THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6

クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会 長：小林 操

副 会 長：今野 忠雄

幹 事：太田 靖彦

会報委員長：石川 輝次



第1352回例会記録 No. 14

平成15年10月15日

司会：松崎 義一

編集：千葉 千秋

御客様：2770 地区ガバナー 田村亮夫様

第5グループガバナー補佐 豊住昇二様

会次第

ガバナー公式訪問

- 1、点鐘
- 2、ロータリーソング「我等の生業」
- 3、会長挨拶
- 4、幹事報告
- 5、お客様挨拶
- 6、クラブ協議会
- 7、点鐘

次回例会予告

平成15年10月26日

\* 例会変更 \*

環境を考えるハイキング

## 会長挨拶



会長 小林 操

こんにちは、第2770地区ガバナー田村亮夫様、第5グループガバナー補佐豊住昇二様、改めて、本日、公式訪問宜しくお願ひ申し上げます。

本年、RI 会長は「手を貸そう」と言う、所信表明をされました。これは多くのロータリアンが賛同するように、最初の、そしてもっとも基本的な、手助け、奉仕ではないでしょうか。多くのロータリークラブで、それぞれの活動を、より発展的に行っていますが、

昨今、ロータリアンに対する、物的精神的負担が余にも多く感じられます。今年度、越谷北ロータリークラブは、「手を貸そう」を原点に、背伸びをしない基本的な活動を目指し、予算の減額、事業の集約化、重点化を実施しております。情報雑誌委員会においては年3回以上の研修を企画し、社会奉仕委員会においては、スマイルの普及、市民祭りの参加、インターアクトを中心とした新世代育成事業等を進めております。このような活動が果たしてロータリアンらしい活動かは、分かりませんが、原点を理解し、それぞれのロータリアンが、奉仕を自然の行動として、日常生活を送ることができれば、「手を貸そう」という言葉は、「ロータリアンらしく」と変わり、いつの日か「人間らしく」に変わるものと信じております。

ガバナーには、本日、宜しくご指導お願い申し上げます。

### 幹事報告



幹事 大田靖彦

昨日、第5グループ会長・幹事会が開催されました。

今月、25日にはグループ内の新人

研修会があります。ご連絡申し上げました、新入会員の方には全員の出席をお願いします。(新人8名) 第5グループの会員名簿が出来上がりました。メールBOXに入れておきます。

越谷東R・Cより800回記念として例会変更の連絡が来ております。

### お客様挨拶



RI 第2770地区ガバナー  
田村 亮夫様

皆さん今日は、田村でございます。2003～04年のガバナーの任に付きまして早や3ヶ月が経過を致しまして、皆様と同じように私に与えられた物理的な時間が限られており、越谷北ロータリークラブさんの公式訪問が今日になりました事をご理解戴きたいと思っております。たとえ今日であっても、今、私は7月1日、年度始めを向かえたと同じマインドでおりますのでこの有効な時間のなかで過ごさせていただきたいと思っております。

本年、1月26日のアナハイム研修セミナーに行ってまいりまして、166ヶ国のガバナーエレクト529人、ご夫妻を含めます約1,000名以上の方々と

コミュニケーションをとってまいりました。私とその時点で一番感じたのは第一本会議におきます点鐘の瞬間でありまして、予想された時間に本年度の R I テーマがライトアップされました時に Lend a Hand という言葉が出ました。日本語で「手を貸そう」という意味を日本の皆さんがどう解釈してくれるか疑問を感じました。続きまして三千数百名の会員の皆様方の一人一人の想いを感じた時に、非常に責任と任務の重要性を感じました。この一週間の研修の中で色々な経験をさせて頂きました。その時に感じたのは日本の今現在の経済力の素晴らしさでありました。特に 2770 地区を捉えた時にも相当ハイレベルな奉仕活動をしているというものが色々なかたちで一週間の中に出て来ました。先陣のロータリアンに対する敬意と尊敬の念を感じました。しかし時代の流れも同時に感じました。先陣の教えてくれました教訓というものも身に染みて判りました。歴史というものも尊重致します。そうゆうところから新たにどのようかかたちで進むか同時に考えました。

2770 地区を築き上げて今日まで来たのが山頂と例えるならば、新たに私は丘としてそこから又山頂を望み進めて行くのも任務であると思います。帰ってまいりまして、3月5日の各クラブから出向されております地区委員の皆様への地区研修セミナーを皮切りに、現会長の会長エレクトセミナー

「ペッツ」を行いました。

4月22日は地区協議会でありました。そんな中で6月一杯戦略を練りまして7月1日から行動に入ったわけでありまして。その戦略を練るなかで今回の公式訪問の在り方についてこうすべきであろうと思ったのもその時点でありまして。すでに 83 地区内の、会長エレクト、四大奉仕委員長さんとはコミュニケーションは取れたと思います。今年度の我々の地区内の奉仕活動のコンセンサスは取れたと、そうゆう想いから今年度の各クラブのリーダーである会長の下で作られた年度計画書に基づき推移するならば何の問題も無いと解釈を致しました。

その根幹は 2001 年の規定審議会で決定された、地区リーダーシッププランであります。ロータリー用語では 3 文字を採りまして「DLP」という表現を致しますが、その 3 文字に基づき年度計画書に記載され、全てそれによって実行されるものであり、互いのコミュニケーション、信頼関係のもとに出来たということから今日のクラブ公式訪問をとらせていただきました。

皆さんと共に地区という存在に、あるいはロータリー財団、米山記念奨学会に対してどのような想いを持っているのか、過去はどうであったか、これからどう構築することが 101 年に向けて必要なのかということ进行讨论、折衝することにおいて皆さんと目的に向けて意見の共有が出来ることからこの様な方式を取らせていた

できました。実質、5529 地区、世界に有り、120 万のロータリアンがどの様に向かって行くのか、そこが根幹であります。R I があり、地区があり、クラブがあるということではなく、一ロータリアンの集合体がクラブであり、便宜上、地区があるわけで、各国クラブ間との世界の平和を構築する国際人として、国際ロータリアンとして活動するに於いてエージェントをするのが地区の存在であります。

国際ロータリアンであると同時に、地域におきます奉仕、地域におきます職業を代表する皆さんが、ロータリアンであることがベースであります。そこから世界へ目を向けていただき、国際ロータリアンとしての活動もお願いしたいと思います。

本年は、会員増強、R I、ロータリー財団の理解ということ掲げさせていただき、家族会員というものが必須事項として出てまいりましたことからそのお願いもしました。WCS「世界社会奉仕」という非常に範囲の広い、確実なパートナーとの奉仕活動もお願いしております。ポリオ撲滅キャンペーンもひとつの奉仕活動であります。同時にロータリー発足 100 周年を迎える幸せの共有ということから、クラブ単位におきます 100 周年記念というものをプロジェクトとして行っていただきたい。ポリオ、会員増強におきましては後ほど討論、折衝のなかで出て来ると思いますが、増強に関して、私は強く申し上げたいのは、

退会防止という四文字の削除であります。退会防止の四文字はけっして使ってはいけない言葉であると思えます。なぜならば、新会員として入会され委員になり活動をされようとしている新入会員の方々に退会防止という言葉強く訴えたとクラブに対して疑念を抱くのではないのでしょうか、各委員会の活性化、活動というものが結果として退会防止に繋がると思えます。ただグローバルスタンダードで見た場合に、会員増強拡大、退会防止委員会というものを R I として悶々として指導しており、必要な国も有ります。インドがそうです。

一昨年、経済状況、いろんなかたちで退会される方が非常に多かったわけですが、全てがそれによる退会ではないと思えます。今現在 3,069 名であります。私のお預りしております、この年度の地区の皆さん方の分担金、各委員会の予算の支出状況、残高等が直ぐ判るシステムになっております。そのような状況の中で、自然退会は避けられない訳で、各クラブには実質純増 1 名をお願いしております。会員増強に関しましては質の論理で増強していただきたい、皆さんと同じ質の継続の出来る会員を紹介していただき、クラブ内でのオリエンテーションを実行していただきロータリーの歴史、ロータリーというものを説いていただきたい、確固たる強いロータリークラブとしての存在というものをお願い致します。

地区大会に關しまして、越谷地区のロータリアンの皆様は市の行事と重なっている關係上、参加者の割合の難しさを聞き及んでおりますが、出来るだけ多くの皆さんの参加をお願いしたいと思います。これは私の地区大会でも、誰の地区大会でもありません、地区内 83 クラブに所属している会員皆さん方の地区大会ですので、23 日は是非参加をお願いしたいと思います。

尚、直前会長・幹事、現会長・幹事、四代奉仕委員長の皆さんには 22 日に重要裁決事項がありますので出席を義務付けさせて頂いております。

23 日はクラブの紹介の時にバナーと皆さんの映像がライブで画面に出ます、その時は多くの越谷北ロータリークラブの皆さん方が拍手を持って是非お願いしたいと思います。コンセプトは音と映像であります。おそらく従来の地区大会と一変するでしょう、変化が相当出るでしょう。皆さん方もそれなりのインパクトを受けられるでしょう。楽しく思い出に残る地区大会になるよう努力しております。新入会員の皆様には昼食会のご招待も企画しております。ご家族の皆様、多くのロータリアンの皆様のご参加をお願い致します。ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

### 委員会報告



#### 親睦活動委員会 大熊正行委員長

既にご案内させて頂いております「親睦ゴルフ」の件ですが、当クラブの元会員の本田哲郎さんが久しぶりに九州から埼玉にお見えになります。親睦ゴルフにも参加していただけたとのこと。そこで、折角ですのでゴルフに参加されない方も交えて本田さんを囲む会を兼ねてゴルフのパーティも地元に戻って、落ち着いた形で開催させていただくことに変更させて頂きました。つきましては、ゴルフの参加費等の変更もごさいますがご理解いただきますようお願い申し上げます。尚、詳細につきましては本日、全会員の方に FAX にてご案内を送信致しますので、どちら様も万障御繰り合わせの上ご参加下さいませよう何卒宜しくお願い致します。



#### 環境保全委員会 木村二夫会員

皆さんこんにちは

すでに、皆さんの会社又はご自宅の方にハイキングの案内をお送りしてございますが、内容が書いて無いようですので、めったに見る事の出来ない鉾山に青木会員のご協力が入ります。又帰りに佐野のアウトレットモールに寄りまして、ご夫人の大変喜ぶショッピングをしたいと思います。まだ申込みでない方は本日受け付けておりますので宜しくお願い致します。



R財団派遣奨学生カウンセラー  
上床 和秀会員

当クラブより送り出した財団奨学生の堂内直子さんより手紙が届きまして近況が分かりましたのでご報告致します。8月24日に成田を立ちまして、最初にフランクフルトでドイツ語の勉強をして今月よりニュースター大学に通っているそうです。先日私のところに電話があり、現地のクラブの例会に始めて出席した時、北クラブのバナーを持って行ったそうですが、バナーの絵柄について質問されたのですが何も聞いてなかった為、説明出来なかったそうです。早速、宇田川さんにお聞きして手紙を送りました。又何かありましたらご報告致します。

## クラブ協議会

司 会 幹事 太田靖彦  
開会挨拶 会長 小林 操



第2770地区ガバナー田村亮夫様、第5グループガバナー補佐豊住昇二様をお迎えして越谷北ロータリークラブガバナー公式訪問クラブ協議会討論会を開会いたします。ガバナー公式訪問の意義については、再三申し上げてきたとおり、クラブ、及びクラブの活動に関心を持たせ、参加を勧め、表彰をすることに主眼があります。

ニューリーダーシッププランによって、通常クラブ協議会は、ガバナー補佐によって確認されます。越谷北ロータリークラブでは、7月16日の第3回クラブ協議会の折、ガバナー補佐よりお話を頂きました。本日は、皆さん、ガバナーの説明に耳を傾け、しっかり討論して頂きたいと思います。これを持ちまして挨拶に代えさせていただきます。

## 【クラブ協議会討論】

四代奉仕委員長より田村ガバナーに質問が出され、明解なお答えを戴き、白熱した討論会が行われました。紙面の都合により内容は省略させていただきます。



クラブ奉仕部門 山口秀行委員長



ガバナーに質問する 辺見八十宣会員



職業奉仕部門 長島洋一委員長



質問に答える 田村亮夫ガバナー



社会奉仕部門 亀田栄一委員長

【四代奉仕委員長による質問】

\* クラブ奉仕委員長

- (1) 会員増強及び会員の高齢化
- (2) メール化による地区予算の合理性について

\* 職業奉仕委員長

- (1) 例会は原則週1回定時ですが昼夜交互等に変更出来るか

\* 社会奉仕委員長

- (1) 今年度、スマイルを職奉、社奉、国奉の3部門の原資に当てているが良い集め方は

\* 国際奉仕委員長

- (1) 国際親善旅行の際にどのような親善事業があるか



国際奉仕部門 黒田幸英委員長



ガバナーに質問する 稲垣勝三会員

## [所 感]



### 第5グループガバナー補佐 豊住 昇二様

皆様大変お疲れ様でございました。11時からのガバナー面談、例会、討論会と慎重な審議をされ滞りなく終わりを向えますが、一言お話をさせていただきます。ロータリーのことについて会員数の増減、例会の出席率、或は魅力あるロータリーは、例会はと問題になることがあります。ロータリーは親睦が優先か例会を重んじるのかと言う事もあります。例会、親睦、奉仕活動の三つの調和が大切だと思います。会長の強いリーダーシップ、全会員の強調と理解が必要であると思います。

本日の公式訪問例会、討論会を通じて、田村ガバナーは改革者としての要素を持つ、指導者、リーダーとしてのロータリーに対する強い改革と行動力を感じられた事と思います。私は常日頃、ガバナーと行動を共にしておりますが、真の指導者としての強いリーダーシップに対しまして心から敬意を表します。私もガバナー補佐として微力ではありますがこれからも全力を重ねていく所存でありますので、

皆様のご協力をお願い致します。最後に私が育てているスイートバジルの花言葉を小林会長に贈りたいと思います。「よい望み、好意、好感」でございます。

本日はありがとうございました。

## [閉会の挨拶]



### 会長エレクト 中村義雄

## 出席報告

|          |       |
|----------|-------|
| 会員数      | 50名   |
| 出席免除     | 4名    |
| 出席者      | 33名   |
| 欠席者      | 17名   |
| 出席率      | 71.7% |
| 前回メークアップ | 3名    |
| 前回修正出席率  | 78.2% |